

上原記念生命科学財団

平成30年度 リサーチフェロースhip 募集要項（第1～第3部門）

<p>1. 助成対象課題</p>	<p>生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する以下の諸分野の研究</p> <p>(1) 第1部門 東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般</p> <p>(2) 第2部門 基礎医学（上記以外）</p> <p>(3) 第3部門 臨床医学（ 〃 ）</p>
<p>2. 助成対象者</p>	<p>下記の諸条件をいずれも満たす日本に国籍を有する者、又は日本への永住が許可されている者。但し、過去に当財団の海外留学助成金を受領した者は対象外とする。</p> <p>(1) 1981年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制学部卒業者は1979年4月1日以降出生の者</p> <p>(2) 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者</p> <p>(3) 留学中の年間収入が600万円以下の者</p> <p>(4) 2019年1月1日から12月31日の間に出立し、1年以上留学する者（但し、年内に出立する者および募集開始時点で海外留学通算2年未満の者については「前年度の応募に間に合わなかった」等の事情によっては申請を受け付ける。その場合は、必ず応募事由書を添付のこと。）</p> <p>※次の①～③は対象外</p> <p>①2019年12月31日までに帰国予定の者</p> <p>②学生として海外の大学又は大学院へ留学する者</p> <p>③通算2年以上研究留学の経験がある者</p> <p>(5) 1年以上の海外留学を受け入れる大学等学術研究機関が決定している者 但し、日本学術振興会や国内外を問わず、他機関・他財団の大型助成との重複受領は認めない。（当財団ホームページQ&A参照）</p>
<p>3. 推薦者</p>	<p>推薦は、原則として1推薦者につき1件とする。</p> <p>(1) 大学関係 総合大学：大学院研究科長（または学部長）^(注1) 単科大学：学長 財団が承認した大学附置研究所等：代表責任者 大学共通組織^(注2)（研究センター、研究施設等）：学長</p> <p>（注1）同一の研究科、学部の場合はいずれか1件の推薦とする。 （注2）原則研究センター長、施設長および附属病院長は推薦者となることができない。</p> <p>(2) 大学以外の研究機関 当財団が承認した研究機関の代表責任者</p> <p>(3) 申請時すでに留学中の者：留学先研究室の長（PI相当） 注) 1研究室につき1件とする。</p>

<p>4. 助成金額 および件数</p>	<p>渡航費および滞在費1年分として、1件450万円以内とする。※下記表を参照。 総助成件数は約80件の予定。</p> <p style="text-align: center;">＜一件あたりの助成金額の上限＞</p> <table border="1" data-bbox="464 241 1187 416"> <thead> <tr> <th></th> <th>既婚者</th> <th>独身者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成決定後に出立する者</td> <td>450万円</td> <td>390万円</td> </tr> <tr> <td>既に留学中・年内出立の者</td> <td>410万円</td> <td>350万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 収入状況の査定によって、上記の上限より減額になる場合があります。</p> <p>尚、次の条件を満たす希望者の中から選考段階での成績優秀者（若干名）に対し、2年間の助成を行う。（但し、2年目の助成額は初年度助成額から渡航費40万円を差し引いた金額を上限とする。）</p> <p>[条件] 2019年1月以降新たに出立し、2年以上の受入が確定している者。</p>		既婚者	独身者	助成決定後に出立する者	450万円	390万円	既に留学中・年内出立の者	410万円	350万円
	既婚者	独身者								
助成決定後に出立する者	450万円	390万円								
既に留学中・年内出立の者	410万円	350万円								
<p>5. 助成期間</p>	<p>出立月（2019年1月～12月）より1年間。但し、既に留学中の者および年内出立の者の助成期間は2019年1月から1年間とし、且つ滞在費のみとする。</p>									
<p>6. 応募方法</p>	<p>当財団ホームページ(http://www.ueharazaidan.or.jp)の助成金 Web 申請のページより応募する。</p>									
<p>7. 応募締切日</p>	<p>2018年9月5日（水）</p>									
<p>8. 選考方法</p>	<p>当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。</p>									
<p>9. 採否の通知</p>	<p>2018年12月13日（予定）に採択者をホームページに掲載の上、採択通知を郵送する。尚、2年間助成の採否についても同時に通知する。内定者には11月に収入状況の確認を行う。</p>									
<p>10. 留学助成金の交付</p>	<p>2019年1月以降、1年分を一括振込みする。 但し、その贈呈式は2019年3月11日に行う。</p>									
<p>11. 報告の義務</p>	<p>2020年4月30日（但し、4月末で留学1年未満の方は留学1年経過時）までに、収支決算報告書および研修経過報告書を当財団に提出する。</p>									
<p>12. その他</p>	<p>(1) 申請書に記載の個人情報は、助成（奨学）・表彰に関し、募集要項等の送付、選考手続・選考委員への提供並びに選考結果の連絡及び公表等に利用することができる。但し、利用は目的の達成に必要な範囲で行う。</p> <p>(2) 申請書は採否に関らず一切返却しない。</p> <p>(3) 当財団は助成金受領者の研修経過報告書を、研究報告集として印刷物および電子データ、当財団ホームページ、その他の方法をもって公表することができる。 また、公益に資すると思われる公共のデータベースサービスに登録することもできる。</p>									
<p>13. 申請書送付先 および照会先</p>	<p>公益財団法人上原記念生命科学財団 〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号 E-mail: mail85@ueharazaidan.or.jp</p>									

専門分野一覧表

部門	専門分野
<p>第1部門：健康科学・薬学領域</p> <p>*社会医学は公衆衛生学、法医学、産業医学、環境医学、疫学、地域医学等を含む</p>	<p>A101 東洋医学</p> <p>A102 体力医学</p> <p>A103 社会医学*</p> <p>A104 栄養学</p> <p>A105 看護学</p> <p>A106 リハビリテーション医学</p> <p>A199 その他 健康科学系</p>
	<p>A201 薬剤学</p> <p>A202 薬品物理化学</p> <p>A203 薬品合成化学</p> <p>A204 天然物・微生物化学</p> <p>A205 薬品分析学</p> <p>A206 ケミカルバイオロジー</p> <p>A299 その他 薬学化学系</p>
<p>第2部門：基礎医学・基礎生命科学領域</p>	<p>B101 生化学</p> <p>B102 分子生物学</p> <p>B103 細胞生物学</p> <p>B104 生物物理学</p> <p>B201 人類遺伝学</p> <p>B202 発生生物学</p> <p>B203 微生物学・ウイルス学</p> <p>B204 免疫学</p> <p>B205 癌腫瘍生化学</p> <p>B206 放射線基礎医学</p> <p>B207 生物学</p> <p>B208 解剖学</p> <p>B301 生理学</p> <p>B302 毒性学</p> <p>B303 薬理学</p> <p>B304 病理学</p> <p>B305 医動物学</p> <p>B999 その他 基礎医学・基礎生命科学系</p>

部門	専門分野
<p style="text-align: center;">第3部門：臨床医学領域</p>	<p style="text-align: center;">内科学系</p> <p>C101 循環器内科学 C102 消化器内科学 C103 呼吸器内科学 C104 神経内科学 C105 腎臓内科学 C106 血液内科学 C107 代謝内分泌内科学 C108 膠原病・アレルギー内科学 C109 感染症内科学 C110 臨床腫瘍学 C111 老年医学 C112 小児内科学 C113 心療内科学 C114 精神神経科学 C115 皮膚科学 C116 放射線科学 C117 臨床検査学 C199 その他 内科学系</p>
	<p style="text-align: center;">外科学系</p> <p>C201 胸部外科学 C202 消化器外科学 C203 脳神経外科学 C204 整形外科学 C205 形成外科学 C206 口腔外科学 C207 小児外科学 C208 産婦人科学 C209 眼科学 C210 耳鼻咽喉科学 C211 泌尿器科学 C212 輸血学 C213 麻酔科学 C214 臓器移植学 C215 臨床歯科学 C299 その他 外科学系</p>
<p style="text-align: center;">第4部門：生命科学と他分野との融合領域</p>	<p>D1 生体情報系 D2 生体医工系 D3 生体材料系</p>